

5月号

2010(平成22)年
5月28日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] No. 10

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>



未来見つめ：入学式

- 桐蔭高校硬式野球部……02
センバツで健闘
- ビーブル……04
**ランニングを通して
人々と社会の
健康づくりに貢献したい**
スポーツ健康学科3回生高尾憲司
- 学事情報……06
- キャリアセンター……08
- 中学・高校トピックス……10
- ニュース&トピックス……12
- 学生責任編集……14
- クラブ活動の記録……15
- 中川晶のキャンパスセラピー・
編集後記……16

大阪桐蔭野球部 センバツで健闘

大阪桐蔭高校硬式野球部は、3月21日から阪神甲子園球場で行われた第82回選抜高校野球大会に、3年ぶり4回目の出場を果たした。2回戦で敗れて春初制覇はなかったが、気迫溢れるプレーを見せたナインには惜しめない拍手が送られた。



橋下知事に出場報告

森山校長と硬式野球部関係者、選手19人が、3月11日（木）、大阪府庁を訪れ、橋下徹知事に選抜大会出場の報告を行った。橋下知事は「府民880万人を代表して、おめでとう。出場を成し遂げたことに自信を持ち、胸を張ってほしい」「出るからには勝ちにこだわって全力投球してください」と3年ぶりの出場を祝った。



岡本・大東市長にも

同日、大東市の岡本日出土市長にも出場報告を行った。岡本市長は「おめでとう。このたびのセンバツ出場は大東市の誇りです。私自身は応援にも出来るだけ行かせて貰います。頑張ってください」と激励された。（岡本市長は、1回戦の応援に駆けつけ、懸命に声援を送った）

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
大阪桐蔭	0	3	0	1	0	0	1	4	9	
東海大望洋	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2

雨で2日延びた初戦は、大会5日目（27日）第1試合で東海大望洋高校（千葉）と対戦。順延の影響も見せぬプレーで快勝した。

桐蔭は二回1死二、三塁で西田選手が左越え2点三塁打を放ち、相手の中継ミスの間に西田選手も生還して3点を先制。四回には市川選手が中前適時打を放った。望洋は六回に1点を返したが、桐蔭は八回に代打・山中司選手の遊ゴロの間に1点を加点。望洋はその裏に1点を挙げたものの、桐蔭は九回2死満塁から西田選手の走者一掃となる右越え三塁打などで4点を加えて突き放した。桐蔭の先発福本翼投手は7回1失点で、中野、山中響両投手への継投も成功した。

西谷監督は試合後、「全員野球で目標にしてきた1勝ができた。立ち上がりの苦しい場面も全員で乗り切り、守りからリズムが作れた」と話した。福本主将は「独特の空気の中、簡単には勝たせてくれないと感じたが、1勝は自信になる。自分の投球は不本意だったが、みんなの守りのおかげで勝てた。次も初戦のつもりで戦いたい」と気を引き締めていた。





■出場メンバー

ポジション	選手名	学年	出身中学校
◎投手	△福本 翼	3	香椎第一
捕手	江村 直也	3	常金
一塁手	▽西田 直斗	2	柏原
二塁手	▽廣畑 実	2	枚方4
三塁手	▽河原 右京	2	南部
遊撃手	山口 拓也	3	真美ヶ丘
左翼手	山足 達也	2	蹊谷
中堅手	市川 涼太	3	峰塚
右翼手	▽藤田 大将	3	田原本
補欠	△大家 淳徳	3	園部
補欠	山中 響佑	3	東光
補欠	川端 晃希	2	岸和田北
補欠	小山 祐輝	3	長瀬
補欠	山中 司	3	四条
補欠	藤田 元氣	2	大久保
補欠	中野 悠佑	2	福井工大
補欠	高宮 大輝	3	七条
補欠	▽木村 建太	3	唐津東
記録員	藤本 侑也	3	粉河
ブラカード	河野 和輝	3	石切

(◎は主将、▽は右投左打、△は左投左打)

2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
大阪桐蔭	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
大垣日大	0	2	0	2	0	1	0	1	X	6

2回戦は大会8日目(30日)第2試合で大垣日大高校(岐阜)と対戦。先制を許し、終盤追いつけたが8強進出はならなかった。

この試合も福本投手が先発。二回に2点先制され、四回にも2点本塁打を打たれる苦しい展開。五回に2年生右腕の中野悠投手が登板し、仲間の反撃を待った。散発4安打に抑えられていた桐蔭は八回、先頭の山中司選手が左越え本塁打で1点を返す。続く藤田元選手が左前打で出塁。廣畑実選手の二ゴロで1死一塁となって打席には2008年夏の全国制覇を経験した山口選手。スタンドも盛り上がったが、強烈な打球は相手投手のグラブに遮られて併殺に倒れた。九回表、代打・小山選手、江村選手が連続左前打で無死一、二塁とするも、その後は代打・高宮選手の犠飛での1点にとどまり、涙をのんだ。

西谷監督は「守りのリズムがつかめなかった。まだ力が足りない」と痛感した。終盤の攻撃を前半からできるすべを身につけたい」と悔やんだ。福本主将も「自分の力不足を感じた。誰にも負けないキレのある球を投げられるようになって、戻ってきたい」と語った。



●満席のアルプススタンドで大声援

アルプス席は1、2回戦とも満席となった。在校生、保護者、卒業生、地元関係者、野球関係者、学校関係者など多数が駆け付けた。応援生徒の服装は青のウインドブレーカー、白の帽子、えんじのメガホンで統一。アルプススタンドの前半分が青色に染まった。応援席の通路には、チアリーダー部の24人がカラフルなボンボンを持って立ち、ボンボンの色を変えながら懸命に声援を送った。昨年の全日本吹奏楽コンクールとマーチングコンテストでダブル金賞を受賞した吹奏楽部約140人が、応援歌に組み入れた映画「崖の上のポニョ」の主題歌などを交えながら力強く演奏し応援を盛り上げた。



ランニングを通して 人々と社会の健康づくりに 貢献したい



人間環境学部スポーツ健康学科 高尾憲司さんに聞く

大阪産業大学に“スーパー学生”がいる。陸上競技1万^{ドル}の元日本選手権者にして、現在はランニングクラブ「ブルーミング」代表、人間環境学部スポーツ健康学科3回生として学ぶ高尾憲司さん。ランニングを通して自殺者を減らすなど「社会の健康」作りに貢献したい、と良き指導者を目指す。ランニング理論と技術指導を研究しながら、英語の単位取得に苦しむ学生でもある高尾さんに大産大ライフを聞きました。

●経験だけで指導はできない

——実業団の名門・旭化成で、駅伝優勝、アジア大会1万^{ドル}優勝など輝かしい記録を持つアスリートが、33歳で大学に入学。大きな決断があったのでしょうか。

高尾 入社1年目で駅伝メンバーに選ばれ、チームは優勝、僕も区間賞。1万^{ドル}

でも98年の日本選手権とアジア大会優勝など、ほんとうに順調でした。自分では、99年の世界選手権で日本記録を出してマラソンに転向し、シドニー五輪で金メダルをとって引退だと、人生の青写真まで完成させていたんです(笑)。自分の負担で栄養士をつけるなど、対策もしていた。ところが、日本代表だからと筋肉痛を我慢して走り、アキレス腱の大怪我につながりました。腱の一部が断裂した状態で走った世界選手権は惨敗で、以後、2度手術もしましたが、納得できるレースも旭化成の一員としての満足な練習もできなくなり、引退を決めました。その経験から、走るのをやめる勇気、やめさせる判断や指導も重要だと感じました。

——そこから指導者へというのはわかりますが、なぜ大学に？

高尾 経験だけでは確かな指導はできま

せん。裏付けとなる理論も、指導技術も必要です。また、陸上競技の世界では、引退後に指導者になれる人はほんの一握り。そこで僕はまず社会人として一人前にと、旭化成せんい株式会社で普通のサラリーマン生活を約2年経験しました。06年にブルーミングを設立すると、ランニング教室の特別講師として呼ばれることも増え、指導者として生きる決意を固めました。きちんとした理論や指導技術を学びたいと思っていたところ、08年に大



読売テレビアナウンサー(左の2人)の心肺機能をチェックする高尾さん(中央)

高尾憲司さんプロフィール

ランニングクラブブルーミング代表。
日本体育協会公認スポーツ指導員。

94年・95年・98年・99年

全日本実業団駅伝優勝

94年 世界ジュニア陸上選手権10000^{ドル}準優勝

95年・99年 世界陸上選手権10000^{ドル}日本代表

98年 日本陸上競技選手権10000^{ドル}優勝

98年 バンコクアジア大会10000^{ドル}優勝

99年 文部大臣賞受賞

産大にスポーツ健康学科が開設されると聞き、入学させていただいたのです。今は学生とブルーミングの代表、運営会社として09年に設立した株式会社ブルーミングの代表取締役と、3足のワラジです。

●学ぶことそのものが大事だ

——ブルーミングの活動を教えて下さい。

高尾 京都と大阪で約100人の会員を対象にランニング練習と理論の指導をするほか、クラブのWEBサイトを通して、会員個人向けにトレーニングメニューの作成と提供、アドバイスなどを行っています。学校や社会教育団体などから依頼を受けての講演やランニング教室開催、ランニングイベントの支援といった仕事も増えています。最近では読売テレビの「ウェークアップ!ぷらす」という土曜朝の番組で、虎谷温子、五十嵐竜馬の両アナウンサーが東京マラソンに挑戦するという企画の支援をしました。大産大のウェルネス2008の施設を借りて心肺機能チェックなどを実施し、トレーニングメニューを考案したり、練習を見たりしました。

——学生としての勉強と会社経営の両立は、苦労も多いのでは？

高尾 ランニングクラブの法人化は全国でも例がなく、すべてが手探りですが、とくに苦労は感じていません。一番大変なのは大学の英語の勉強です(笑)。講義は、よほど外せない仕事と重ならない限り出席して、一番前で聴いています。心理学の講義を欠席した仲間に僕がノートを貸して、彼が試験に合格して僕が落ち



たということもありますが(笑)、それでもいい。合格も大事ですが、僕にとっては学ぶことそのものが大事なんです。

——会社経営もほぼ順調ですか？

高尾 そうですね。そもそも僕は、あまり利益は意識していないのです。利益より、教室参加者などの評価、ブルーミングが皆さんの健康づくりにどれだけ貢献できるのかを意識したいと思っています。ランニング教室の指導で地方に呼んでいただいても、前日に現地入りして、その日はボランティアで子供たちに教えたりしています。それと、この活動をを始め、また大学で学んでみて、僕の意識も変わってきたのです。

●3万人という数字の不思議な一致

——どういうふうに変ったのでしょうか？

高尾 以前は、陸上競技としてのランニングを教えるという気持ちでしたが、今は、ランニングを通して人々と社会の健康づくりに貢献したいと考えています。たとえば、東京マラソンも那覇マラソンも、参加者はだいたい3万人です。その一方、年間の自殺者数も3万人。経済的理由もあるでしょうが、うつ病など心身の健康を失って自殺に追い込まれる人も多いはず。ならば、ランニングで健康づくりを支援し、多少とも自殺者減少に貢献できないか。ひとりの指導者としての活動から、組織としての活動を重視

し始めたのも、そういう課題に取り組みたいと思うようになったからです。

——ランニング自体、お金はかからないですが、大会参加などには費用も要りますね？

高尾 実は、そこがミソだと思うのです。誰でも気軽に始められ、余裕のある人はマラソン大会などにも参加できる。そして、大会は経済への波及効果が十数億円と言われますから、地域活性化にも貢献もできる。人々の健康づくりと社会の活性化が、ブルーミングのふたつの大きな目標なのです。ランニングは成人病予防などにも役立ちますから、国民医療費の増大が叫ばれる今、費用は健康保険適用になってもいいんじゃないかと思うくらいですね(笑)。この大産大にも400mトラックがあれば、いろんなイベントを企画できるのにな、と思っています。

——これは大学として大きな宿題をもらいました。

高尾 おおいに期待しています。大産大にはこんな自分をよく入学させてくれたと感謝していますし、社会人を受け入れる教育やその仕組みを作り上げていることに、この大学の未来、可能性の大きさも感じるのです。

——ありがとうございました。



長野県の小学校の特別授業で、小学生たちに走る楽しみや、諦めないことの大切さを話す高尾さん

■ブルーミングHP

<http://www.rc-blooming.jp>

■高尾さん個人ブログ

<http://kenjitakao.cocolog-nifty.com/>

大学院・大学・短大 入学式を挙行

大学院(第23回)、大学(第46回)、短大(第45回)の平成22年度入学宣誓式が4月2日(金)、午前10時から総合体育館で行われた。編入学生を含む新入生合計2,987人が学生生活のスタートを切った。
(表紙に入学式の表情写真)

新入生の内訳は大学院128人(博士前期121人、博士後期7人)、大学12学科の1年次生2,530人、3年次編入生123人、短期大学部206人。

開式後、籠谷正則学長が入学許可宣言し、学長式辞で「充実した学生生活を過ごすために、自分はどうすればいいのか。まず、そのことを皆さんが自分で考えることから、始めてください。その考えた結果がたとえ間違っていたとしても、誰も皆さんを責めたりしません。考えた結

果が間違っていたと判れば、その段階で、皆さんは一つ確実に成長できるのです。『しくじるは稽古のため』。間違いや失敗を恐れる必要はまったくありません。社会人になれば、そうとばかりは言ってられません。間違いや失敗が許されるのは、学生の、あるいは若者の特権であると言ってもよいでしょう。その特権をおおいに活用してください」と述べられた。次いで教養部のテモテ・デール・カー

式辞を述べる籠谷学長



ン先生による「建学の精神」の英語口読、祝電披露の後、新入生を代表して大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程の塩田喬之さん、大学・短大から人間環境学部スポーツ健康学科の奈良くるみさんがそれぞれ宣誓した。

その後、学園と大学の役職者と来賓が紹介され、校歌を斉唱し、閉式となった。

燃料電池ヒュークルブースで見学者に説明する学生



今年の発表会は、2010年度入学予定者および在学生を対象の中心に据えて開催。例年通り、企業関係者、地域住民らの注目も集め、約340人がプロジェクト共育活動の発表・展示を見学した。

来場者アンケートの結果、成果発表では「菜の花プロジェクト」「世界的に著名な建築家と勉強しようプロジェクト」「ソーラーカープロジェクト」「Electric Vehicle プロジェクト」「学生フォーミュラ参戦プロジェクト」が、展示ブースで

は「歩行ロボットプロジェクト」「菜の花プロジェクト」「世界的に著名な建築家と勉強しようプロジェクト」「OSU プラネタリウムプロジェクト」「3D CAD でのづくりプロジェクト」「エコ推進プロジェクト」がそれぞれ人気順位の上位を占めた。

意見欄には、「楽しかったです。学生が精力的にいろんなことに挑戦できる環境というのはとても魅力的だと感じました」(高校生)、「大学近隣の環境に興味を持ち、清掃、美化に努力されている姿に感

プロジェクト共育 成果発表会

プロジェクト共育成果発表会が3月3日、大学総合体育館で開催された。会場には、二つの発表会場と30の展示ブースが設けられ、受付から会場運営、道案内役までの全てを学生が運営の中心となり来場者への対応を行った。

謝です」(近隣住民)、「採用状況は冷え込んでいますが、どんどんこういった学び、特色をPRする場を提供していただければと思います」(企業関係者)などの賞賛の声が寄せられた。



OSU プラネタリウムプロジェクトの展示ブース

経営学部・流通学科を 商学科に名称変更予定

平成23年度新入生から

経営学部では、世界の市場システムの現代的構造変化をふまえて、右記のとおり平成23年4月1日に「流通学科」を「商学科」に名称変更いたします。文部科学省からも事前承認を受けており、次年度学生募集要項にも「商学科」へ名称変更予定と記載し募集を開始しております。

ただし、変更対象は平成23年度新入生からとなりますので、現在「流通学科」に在学している学生の皆さんの学科名称は変更されるものではありません。

学科名称変更の概要

変更後名称	商学科
英 訳 名	Department of Commercial Science
変 更 時 期	平成23年4月1日
変 更 対 象	平成23年度新入生から

変 更 趣 旨

流通学科は、平成7年に増設されて以来、順調に入学者を確保し、社会に対する責任を堅実に果たしてきた。しかしながら最近10年余の間に、世界の市場システムはグローバル化・情報化・規制改革を軸に大きな機能変革を起こした結果、学生の関心も、流通という目で一連の経済現象をとらえるよりは、市場システムの変革とそれを反映した新たな事業システムの構築がどう行われるのかという、市場における組織の基本的あり方に向けられつつある。これを受けて学科名称を「流通学科」から「商学科」に変更し、市場システムの現代的構造変化をふまえた教育・研究を展開して、本学科の社会的使命をより果たそうとするものである。

東部キャンパスに 学生サービスセンターが オープン！

職員の評判も上々！

オープンして2カ月が経った東部キャンパス学生サービスセンターが、学生の利便性を飛躍的に向上させるなど学生生活のサポートセンターとして、本格的に機能し始めている。

センターでは、右記受付事項や相談への対応を、6名の学生生活課・教務課・キャリアセンターなどの職員が相談内容に応じて分担する。来談学生のアンケート結果によると、対応職員に対する評判も「親切で丁寧」とすこぶる上々。学生の利用者は一日平均60名。相談内容では就職相談に訪れる学生が最も多い。センター内の相談コーナーには、求人情報を見ながら真剣に相談する学生の姿が多く見られる。そのうちの一人、中国からの留学生で大学院機械工学専攻2年生のZOU RONGさんは「研究室の近くにセンターができたお蔭で、授業の合間の少しの時間でも相談に來ることができ、とても便利。職員の方も非常に丁寧に説明して頂けるので、よく分かり助かっています。ぜひ日本企業に就職したいので、これからも活用させてもらいます」と喜んでいました。



窓口で学生に説明する職員

就職相談の様子

東部キャンパス学生サービスセンターの概要

設置場所		・クリスタルテラスの1階西側
窓口取扱時間		・月曜日～金曜日の午前9時～午後5時 ※土曜日、日祝日、夏期・冬期休暇期間中は閉室
受付内容	学生生活課関連	・学生生活相談・奨学金の相談
	教務課関連	・修学・履修相談 ・各種届出事項の受付(住所・氏名変更、休退学、授業料延納など) ・パピルスメイトによる各種証明書発行
	キャリアセンター関連	・就職に関すること全般 ・各種資料の配布(履歴書、就職活動証明書など)
	なんでも相談	・上記以外の相談にも応じます。
付属設備		・ATM、コピー機、図書館返却ポスト、パピルスメイト(証明書発行機)、証紙販売機(バス利用券など)、求人情報検索用パソコンなど

平成
22年度

直接求人 就活の味方

キャリアセンターの
取り組み



学内合同企業説明会で真剣に説明を聴く学生たち

今春の大卒の就職内定は非常に厳しい状況だった。

本学の内定率は大学・短期大学合計で90.5%となり、例年と比較して若干悪いものの、全国平均よりも上の水準だった。2011年3月卒業予定者の就職環境も昨年同様、厳しい経済不況下で企業の新卒者の採用増について現在のところあまり期待できない状況。大卒求人倍率も1.28倍(リクルートワークス調べ)と厳しいまま。そのような中でも、キャリアセンターには、昨年は、4,344社から、今年は3月末現在2,089社の企業から求人があった。また、キャリアセンターが力を入れて実施している学内合同(個別含む)企業説明会には、昨年度は38回実施し、453社の企業が参加した。今年は2月9日、10日総合体育館で大規模合同企業説明会を行い、上場企業・優良企業150社が参加した。

この説明会には、昨年を上回る多数の学生が参加、就職に関する意識の高さや危機感が窺い取れた。その後、学内合同企業説明会を10回実施し、4月20日現在、説明会には卒業生が多数在籍している企業など380社が参加した。すでに、この説明会に参加した企業から内定を受けた学生もいる。学内で実施する説明会のメリットは、①本学学生に対する採用意欲が高い②学生各人が丁寧に説明を受ける

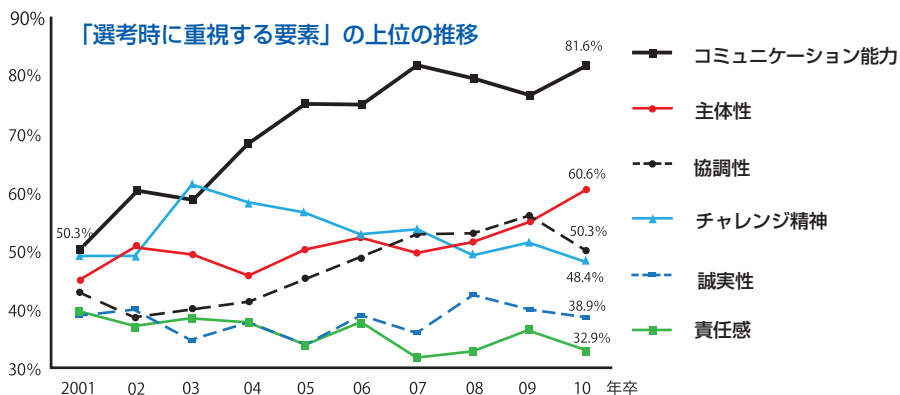
●選考時重視第1位「コミュニケーション能力」 「主体性」「専門性」「一般常識」がアップ

日本経団連が調べた「新卒採用に関するアンケート調査」を見ると、企業が大学生を採用する際に重視するポイントがわかる。

企業が選考にあたって重視した点を25項目から5つ回答する設問では、「コミュニケーション能力」が7年連続で第1位となり、選択した企業割合は81.6%と昨年度より5ポイント上昇した。上位5位までの項目は例年同様であったが、順位では「主体性」が昨年2位の「協調性」に10.3ポイントの差をつけて逆転した。また、「専門性」が昨年と比べ8.9ポイン

ト上昇し14位から9位へ浮上、「一般常識」も6.6ポイント上昇した。

資料：日本経団連「新卒採用に関するアンケート調査」(当該設問は2000年度(01年卒採用)から調査開始)
 ※選考にあたって特に重視した点を25項目より5つ回答。全回答企業のうち、その項目を選択した割合を示している。



ことができる③名前と顔を覚えてもらえる絶好のチャンスの場合—といったことが挙げられる。毎年、学内合同(個別含む)説明会参加の企業へ約4割に当たる学生が内定へと繋がっている。企業の人事採用担当者から、「入社後は、どんな時でも柔軟に対応できる現場に強い産大生」との評価を受けている。就職活動中の学生は今一度、大学で開催する学内企業説明会に目を向けよう。キャリアセンターからの案内に対し、業種に興味がないから、名前を聞いたことがないから、志望業界の企業が参加していない、などと決めつけずに足を運び、納得できる成果に結びつける努力をしよう。

求人情報は就職ナビだけではない。大学に直接届く求人票こそが効果大きい。その求人票が、キャリアセンターでどのように整理・公開されているのか。求人受付後、キャリアセンターのホームページ



内定学生からのアドバイスを聞く学生たち

●39%の企業 既卒採用に意欲

日本経団連の調査によると、2011年卒の採用活動において、既卒者の応募を受け付ける予定がある企業は、「従来から受け付けている」と「今回、受け付ける予定がある」を加えると、合わせて39.3%であった。そのうち、新卒採用と同様の扱いで受け付けると回答した企業は76.0%であった。

一方、「受け付ける予定がない」と回答した企業は58.8%であり、「新卒者で充足している」が主な理由であった。



就職ガイダンスの様子

上の就職支援システムで検索できる。求人検索画面では、説明会開催の案内、卒業生の在籍人数の情報も掲載している。キャリアセンター内の求人票は、大阪地区と他府県のファイルに綴じて、閲覧できる環境を整えている。

2011年3月卒業予定者への就職支援として、昨年に引き続き、経験豊富なキャリアカウンセラーを配置して就職相談を4月末から実施している。日曜日の相談もOK。6月、7月の相談日は別表の通り。その他4回生向けに就職ガイダンス、就職ワーキングセミナー、面接マナー講座

を開催する。キャリアセンターの行事に積極的に参加し、就職活動への意識を持続し内定へ繋げよう。

キャリアセンターでは、今年3月に卒業された未就職者への就職支援・斡旋も実施している。キャリアセンターに登録後、本学に届いている既卒生対象の求人票を閲覧できる。また、パソコンでの検索も可能となっている。

なお、学内合同企業説明会は、夏期期間を除いて12月まで毎月開催する予定(参加企業はキャリアセンター・ホームページに掲載予定)。

キャリアカウンセラーによる 就職相談 スタート！！

2011年3月卒業予定者
対象

ひとりで悩まないで、一緒にかんばりましょう。
ジョブカフェでの相談や、企業の相談、大学でのキャリア科目などを担当された経験豊富なキャリアカウンセラーをお招きしています。この機会にぜひ相談してください。

- ★日程 右記のカレンダーの9時30分～17時30分
日曜日も含みます。平日忙しい人は日曜日をご利用ください。
- ★場所 キャリアセンター内
- ★予約 キャリアセンターで予約してください。
電話でも受け付けます。
☎072-875-1670(学生専用)
不明な点は、キャリアセンター職員までお問い合わせください。
- ★対象 2011年3月卒業予定者
- ★備考 キャリアカウンセラーから進路状況について電話させていただきます。
- ★キャリアカウンセラー
吉中、増田、石川、高田、山中

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※カレンダーの○印がキャリアカウンセラー相談日です。

大産大附属中学・高校

○卒業式 中学



産大中学は3月20日、平成21年度卒業証書授与式を太閤園で行い、第7期生86名がたくさんの思い出を胸に巣立った。

式では、校歌斉唱に続き、平岡伸一郎校長から生徒一人ひとりに卒業証書が授与された。各賞の表彰のあと、在校生代表の岡知彦さんの送辞、卒

業生代表の池田成美さんの答辞、保護者代表の奥田紀代美さんからの謝辞があり閉式となった。

卒業式のあとダイヤモンドホールで茶話会が開かれた。在校生や教職員からのビデオレターや行事の写真がスクリーンに映し出され、思い出話で大いに盛り上がった。

今回は産大中学として、初の校外卒業式。生徒、保護者、教職員にとって、本当に心に残るいい卒業式だった。

高校新入生総代の龍見明日香さん



○入学式 中学・高校

産大中学・高校入学式は4月3日午前9時半から高校進学・スポーツコースが、同午前11時から高校特進コース・中学校がそれぞれ同校体育館で行われた。

中学校の新入生62人と高等学校の760人が真新しい制服姿で出席した。

式は、入学許可宣言後、平岡校長が「今の時代はいろいろな意味で大変な時代です。この複雑な時代を生き抜く力をこの学校で身につけてください。夢を持って、高い目標を設定して、日々努力することしかありません。まさに建学の精神『偉大なる平凡人たれ』です。3年後に皆さんの『目標』が達成されることを願って、そのための精一

杯の援助をお約束します」と式辞を述べた。

次いで中学新入生総代の峯親良さんと高校新入生総代の龍見明日香さんが宣誓し、1年生担任教諭が紹介された。締めくくりに校歌を紹介して閉式した。



中学新入生総代の峯親良くん

○新入生研修 中学

産大中学では、4月5日・6日の2日間、滋賀県近江八幡休暇村で新入生62名対象に研修を行った。

研修では、中学生としての自覚ある行動と仲間作りを目的に、ウォークラリーや風作り、団体訓練を実施。生徒達は、緊張した面持ちでそれぞれの研修に一生懸命取り組んだ。

新しい生活のスタートであるこの研修は、友達を作り、中学生活に対する心構えを育てる良い機会となった。



大阪桐蔭中学・高校

○入学式 中学・高校



高校代表・加田浩大くん

大阪桐蔭中学・高校の入学式が4月3日、大学総合体育館で行われ、高校生(第28期)727人、中学生(第16期)219人に対し入学許可が宣言された。

森山信一校長が「新入生の皆さん、自分で計画を立て、実践することの重要性を自覚して下さい。人は実践を通じて自身を取り巻く状況を変化させることができます。状況を変化させるということはすなわち経験を積むということであり、自己形成を図っていくということです。実践なくして成長はありません。自分の意思で着実に実践することが成長に繋がるのです。人の心の中には、善悪を判断

する良心や希望を叶えたいという意欲がある一方、利己心があり、怠け心があります。胸の内に響く良心の声は自分以外の誰にも聞こえない小さなつぶやきです。ややもすると消えてしまうほど頼りないものです。強い意志の力が働かなければ、正しい判断をし、正しい行動を貫くことはできず、自分にとって最高の成果を得ることはできません。樹木は地中深く根を張り、太陽に向かって伸びていきます。根が地中から吸い上げた水は幹を通り、枝に分配され、葉と花に行き渡ります。皆さんが強い意志の力を発揮し、逞しい基礎力を培い、将来、溢れんばかりの才能を開花させることを祈念します」と式辞を述べた。

続いて中学新入生を代表して田中梨花さんが、高校新入生を代表して加田浩大くんが宣誓した。中学、高校の校歌が吹奏学部の演奏により紹介された後、新入生担任紹介が行われ、閉式となった。



式辞を述べる森山信一校長



中学代表・田中梨花さん



○春季学習合宿 中学・高校



大阪桐蔭中学・高校では、4月13日～17日の5日間、大津市琵琶湖グランドホテル及び緑水亭と福井県あわら市のホテル清風荘を利用して春季学習合宿を実施した。

この合宿では、学習内容の定着がはかれるよう各教科の授業に加えて演習やテストなどもスケジュールに組み込まれ、

生徒たちは毎日、朝から夜遅くまで懸命に学習に取り組んだ。

また、新入生には人間関係作り、時間厳守、挨拶の励行、規則正しい生活習慣の確立など、在校生には、新たな目標や課題を心に刻む場となるようそれぞれ目

標が設定され、生徒たちが各課題に対して自覚をもって取り組む良い機会となった。

合宿期間中、数名の高校卒業生から中学・高校時代の学習方法などの体験談の披露と後輩たちへの激励があり、生徒たちは目を輝かせながら先輩たちの話を興味深く聞いた。



体育会サッカー部から Jリーガー誕生！

独自のリズムから出る、強力なドリブルが持ち味

●4月7日、サッカー部の橘章斗選手(国際経済4回)が清水エスパルスと仮契約し、学内で記者会見を行った。

会見では、「小学生の時に2人の兄の影響でサッカーを始めました。その頃から、夢はサッカー選手になること。中でも清水エスパルスは憧れのチームでした。このたび仮契約させていただいたことが夢のようです。僕のポジションは左サイドハーフ、トップ下。目標とする選手は清水エスパルスの小野選手。Jリーグで実際にプレーできるのは来年以降ですが、できるだけ早くチームに貢献できる選手になりたいです。」と力強く抱負を語った。

清水エスパルスの内藤スカウトも「高校時代から注目していた。橘選手のプレーには独特の間やリズムがある。入団後はレギュラー争いに加わってもらいたい」と期待を寄せていた。来年1月にメディカルチェックを受け、正式入団は2月の予定。



左から櫛引サッカー部監督、橘選手、内藤スカウト

大学時代の成績：1年生からレギュラーとしてリーグ戦(2部リーグ)に出場。2007年、2008年にはベスト11&アシスト王。
2009年は1部リーグで7得点、5アシストの活躍。2010年ステップアップリーグの関西選抜Aに選出。

出身校：滝川第二高等学校(兵庫)
趣味：映画鑑賞・ドライブ

花見と飯ごう炊さんで国際交流 国際交流エクスカッション

●外国人留学生と日本人学生との交流を活発にするためのイベント「国際交流エクスカッション」が国際交流課主催のもと、4月4日、桜の花が咲く快晴の大東市立青少年野外活動センターで行われた。

当日は、中国、韓国、台湾、ミャンマー、ベトナムの留学生と日本人を含む6カ国の学生66名が、火を熾す者、野菜を切る者、料理をする者など10人ずつに分かれて飯ごう炊さんやカレー作りを楽しんだ。メニューはカレーライス、野菜サラダ、フルーツポンチなど。飯ごう炊さんや野外で火を熾すのは初めてという留学生が意外と多く、興味深く取り組んでいたのが印象的。韓国留学生がカレーのルーを入れる前に、細かく切り刻んで調理している姿を見て他の留学生が驚きの表情を見せたときも文化の違いを実感。お米の水加減や火加減など、慣れない者にとって難しい飯ごう炊さんではあったが、予定時間までに全グループが美味しく作り上げた。

昼食後、ビンゴゲームや花見で盛り上がる中、大いに交流を深めた。このイベントをキッカケに、産大内での異文化交流の輪を広げていくことを誓い合い、イベントは終了した。

なお、本学には16カ国から約1,200名の留学生が在籍しており、これからもイベントは継続的に開催される。



続「大阪かくれた“ええところ” 再発見コンクール」で入選

●3月24日に大阪マーチャライズマートビル(OMM)で続「大阪かくれた“ええところ”再発見コンクール」の表彰式が行われ、本学建築・環境デザイン学科の川口将武助手が入選者の一人として表彰された。

このコンクールは、社団法人日本建築協会主催の大阪「ええところ」創生プロジェクトとして実施されたもので、今回は昨年度に続き2回目。202点の応募のうち、最優秀賞の該当はなかったものの、入選作品9点が表彰された。

同コンクールの趣旨は、普段は気づかないけれど「おもしろい」魅力を潜在的にもっている場所や風景(わが街の資源)を見つけ、そのような「かくれたええところ」を再評価することから大阪のまちづくりを元気づけようというもの。

川口助手の作品タイトルは、「多重の河原風景」。場所は、河原にoirるための小階段=写真右上、町家の裏庭が残るかつての水都大坂の名残と現代的なコンクリート護岸と遊歩道が背中合わせに存在する、時間の蓄積を感じられる風景の(大阪市北区)中之島公園北側の堂島川の川沿いに町家が建ちならぶ街並み=写真左下=を応募。

入選者・題名は、3月25日の建通新聞で紹介され、作品は4月26日から5月16日まで、大阪市立住まい情報センター4階住情プラザで展示された。



続 大阪かくれた「ええところ」
再発見コンクール

http://www.aaj.or.jp/osaka_competition10/index.html

バレーボールプレミアリーグでトレーナー体験

日本代表養成プロジェクト

●日本代表養成プロジェクトの学生が、2月27日に松下記念体育館で開催されたバレーボールプレミアリーグのパナソニックパンサーズ対FC東京の試合観戦と試合後の選手へのケアを行った。

試合観戦では、トップレベルの選手やトレーナーの動きを入念にチェック。試合後は、パナソニックパンサーズの選手に対するマッサージなど身体のケアを実践した。同プロジェクトの目的は、産大生の中から有能なアスリートを選考し、そのアスリートが国際舞台で活躍できるよう支援・育成すること。そのサポートを通して、アスリート自身とトレーナーや指導者をめざす学生サポーターが、スポーツ理論やトレーニング法、ストレッチ法などの実践的スキルを習得していく。

今回、文字通り日本代表選手に対して実践したトレーナー体験は、学生たちにスキルの習得はもちろん、それ以外の計り知れない大きな財産を与えてくれた貴重な機会となった。



トレーナー体験コメント

スポーツ健康学科2回生 福田 優祐

試合会場での人の多さや注目度に圧倒されながらも、選手にストレッチをして、筋肉の柔らかさや体の大きさなどを肌で感じ取れました。自分がケアした選手が大歓声の中で活躍している姿に感動しました。

スポーツ健康学科2回生 久米 彩加

今回、トップアスリートにペアストレッチ等をさせていただき、現場の雰囲気を実感できました。体格差のある選手の身体に実際に触れ、その大きさや重さを知ることでもき本当に貴重な経験となりました。

本学女子卒業生が博士(工学)に！

仕事と研究 見事に両立

●今年3月、本学卒業生の船曳悦子さんに、名古屋工業大学から「博士(工学)」の学位が授与された。論文題目は「市庁舎建築における市民空間の計画条件に関する研究」。



船曳さんは、平成11年3月本学環境デザイン学科を卒業後、府立高校教諭に。平成13年から有職者特例制度のある神戸大学大学院に

進学。2年間で修士(学術)取得。竹中大工道具館研究員在職中の平成18年から名古屋工業大学大学院博士後期課程に進学。在学中に岐阜市立女子短大助教に就任、現在に至る。専攻は社会学。主な所属学会は、日本建築学会、日本インテリア学会、意匠学会、こども環境学会など。

船曳さんは、「仕事との両立は想像以上に大変でした。10年間の研究の成果が評価されてうれしい。しかし、これからが本番です」と気を引き締めながら喜びを語った。また、後輩たちにも「仕事を始めると時間がとれないので、学生時代にできるだけ興味のあるところは見ておいた方がいいですよ」と激励の言葉を送った。

英語サマーキャンプ in LA

使える英語を格安で身につける留学！

LAの青い空の下でのびのびと学ぶ。

他では体験できない貴重な時間を

世界中からの留学生と過ごそう。

ダンスやスポーツなどの課外授業も有り。

開催地：OSULA エデュケーションセンター

受講料：\$10/1時間～

宿泊費：\$18～/1泊、\$420/月

今なら
メジャーリーグ
観戦チケット
プレゼント！

OSULA エデュケーションセンター
留学体験談
国際経済学科5回生 乙谷 亮

「アメリカでの1年は、日本での5年分の価値と経験になる」と祖父から言われて1年間の留学に出発。最初の数ヶ月は全てが手探り。異国の彼らとの寮生活は、文化の違いに戸惑う毎日。その経験から彼らとのコミュニケーションのとり方と積極性を学んだ。自分自身のこともよく見つめ、将来のこともよく考えた。祖父

の言う通り「逃げずに自分で切り開く力」「異国で自分の地位を築く力」「異国の人とのコミュニケーション力」などを短期間で身に付けることができた。OSULAで作った色んな国の人たちの思い出、オフィスの優しい職員の笑顔。一生消えることのない最高の思い出となった。OSULAの皆さん、ありがとう。

英語ブートキャンプ

普通の英語講座とは違う。

たとえ就職難だと言われているこの時代でも

実社会で使える英語を学びながら

「人生を切り開く力」をつけたい人 限定。

本気になれる人 集まれ！

主催：OSULA エデュケーションセンター Los Angeles

開催地：三重県伊賀市北山1373番地

ウイツ青山学園キャンパス

期間：2010年8月30日(月)～9月3日(金)

英語レッスン時間(40時間)、少人数クラス

費用：98,000円 4泊5日 寮での宿泊、食事付き



連絡先：オスラ ジャパンオフィス

〒530-0001 大阪市北区梅田ヒルトンプラザウエスト19階

電話：06-6133-5822

担当：宮原、住友



OSU
海外協力隊プロジェクトが
海外でエコ簡易水道建設！
プロジェクト共有活動の「OSU海外協力隊プロジェクト」が、3月23日から4月5日にフィリピンで現地活動を実施し、エコ簡易水道を完成させた。

今回のエコ簡易水道建設は、山岳少数民族であるアエタ族の住むデレッチョ村で行った。私達がアエタ族に出会ったのは2009年3月。彼らと生活を共にし、話をする中で、彼らが1991年に大噴火したピナトゥボ火山の被災者であることを知った。火山噴火後、やむなく町に出てきた彼らはフィリピン人から迫害を受け、政府からの援助も期待できず、現在の山を開拓し住んでいる。しかし、この村には安全な飲み水がなく、小さな子供が水でお腹を壊して亡くなっていた。そこで私達は、いつでも安全な水が飲めるようなエコ簡易水道建設を検討。エコ簡易水



学生の“ものづくり”をサポート！

“クリエイティブセンターはご存知？”東部キャンパス8号館2階にある“クリエイティブセンター(MONO工房Ⅰ)”は、金属加工をはじめ、工作や料理・裁縫のような軽作業など様々な“ものづくり”をサポートしている学内施設。運営は学生が主体。他の学生が利用しやすいように日々改善を行っています。



高校生必見 オープンキャンパス情報！

6月27日開催のオープンキャンパスでクリエイティブセンターが、これまで行ってきた小学生対象の催しに加えて、高校生の皆さんに先端技術を通して“ものづくり”に興味をもってもらえればと、高校生向けイベントを初開催します。

もちろん参加費は無料！内容は、車・バイク好き必見の“カーボンのキーホルダー”をはじめ、3次元図面製図ソフトや3次元自動切削機などの先端技術を体験

<http://s-up.in/>

本学版“ミクシィ”やってます

にアクセス！

Start-UP 産大生日記

はじめまして、Start-UP プロジェクトです。

今月号から始まるこのコーナーでは、大阪産業大学の大きな特色のひとつであるプロジェクト共有として活動しているStart-UPから、大学生の日常を綴った日記などなどをお届けしていきたいと思います！

Start-UP はSNS(social network service=インターネットを利用し職域、地域などと同じくする個人同士のコミュニティを構築する場を提供するサービス)で、ミクシィの大阪産業大学版のようなものです。学生が運営する学生のためのコミュニティです。では、早速参りましょう、今回はStart-UPのユーザーさん日記に上がっている、情報システム工学科の新入生歓迎会についてです。

「今年の新入生は140名ほどでそのうち120名ほどが参加してくれました。大学内の学食で豪華な料理を囲み、新入生同士や上回生と一緒にイベントを楽しみました。今回は運営する側だったのでつかれましたが、とっても充実した時間を過ごすことができました！」とのこと。今のところ、ユーザーさんは情報システム工学科の学生が多く、今回も学科イベント絡みの内容となりましたが、これから全学に広がっていきますので、皆さん次号を楽しみにしていきましょう！

産大生の方は今すぐ、まだ高校生の方は本学に入学してからぜひStart-UP SNSに登録してみてください！

情報システム工学科2回生 熊谷咲耶

んだ突貫工事となった。はじめの頃は現地スタッフとの意思疎通が困難だったが、日を重ねるごとに仲が深まり最後には全員がひとつになって作業を行うことができた。村人から、この水道は大事に使いたい、村人全員で守っていく、などの声も聞けて、私たち学生もやりとげた喜びをかみしめることができた。

都市創造工学科3回生 角野浩平

できる“3D切削機でネームプレート”、発光ダイオードなどを使って一から作る“LEDで光のオブジェを作ろう！”等、さまざまな分野でのものづくり体験を準備しています。詳細はホームページ(<http://www.cc.osaka-sandai.ac.jp>)でご確認ください。他ではなかなか体験できないイベントばかり。オープンキャンパスに来られた時にはぜひご参加を！

問い合わせ先：

E-mail:s-create@cnt.osaka-sandai.ac.jp

交通機械工学科4回生 馬場飛歴

クラブ活動の記録

大産大

■スキー競技部

○第80回全関西学生スキー選手権(3/5～10野沢温泉)大野良太(交機1回)スペシャルジャンプ12位、植田康孝(文コミ1回)スペシャルジャンプ16位、ノルディックコンバインド16位、栗本貴啓(スポ健1回)スペシャルジャンプ19位、大川直輝(経済3回)スラローム第1戦13位・ジャイアントスラローム第2戦14位、大学総合順位1部9位

■アーチェリー部

○2010 舞洲インドアーチェリー大会(2/14 大阪市舞洲障害者スポーツセンター)【男子リカーブ】14位/58人1R264点2R272点合計536点竹中貴浩(流通2回)・24位/58人1R255点2R248点合計503点豊田光昭(経営3回)・29位/58人1R250点2R245点合計495点和田圭介(情報2回)・35位/58人1R241点2R247点合計488点山口貴之(機械2回)・41位/58人1R246点2R225点合計471点大野航太(機械3回)【男子コンパウンド】46位/50人1R197点2R92点合計289点小林亮介(都市環境4回)【女子リカーブ】女子7位/11人1R229点2R248点・合計477点浦田真衣(経営3回)

大阪産業大学附属高等学校

■ウエイトリフティング部

○アジアユース選手権(4/6～13ウズベキスタン)▽62kg級＝白草翔太(1P2)スナッチ102kg・3位、C&ジャーク123kg・4位、トータル225kg・4位○大阪高校春季大会(4/17～18羽曳野総合体育館)▽団体＝2位・得点30点▽個人＝56kg級・深尾翔(2U2)2位、69kg級・松村春樹(2U6)4位、69kg級・浅野幸太郎(2U6)3位、69kg級・石堂謙登(3U6)1位、77kg級・中川智治(2A4)4位、77kg級雁瀬祐志(3A5)3位、85kg級・水野大樹(3E2)5位、+105kg級・森本啓太(3E1)1位

■ゴルフ部

○関西高校ゴルフ選手権(3/6 茨木国際)▽2年生の部＝平野亮治(3A3)87・25位タイ▽1年生の部＝山本将太(2U4)95・95位タイ

■自転車競技部

○全国高校選抜大会(3/24～26北九州メディアドーム)▽スクラッチ・レース決勝男子8km野久保良一(3U5)6位

■テニス部

○大阪高校学区選抜大会(3/29泉北アクアコート)▽男子シングルス＝ベスト8:長沼大志(3P1)、良永匡駿(2P2)○大阪ジュニアトーナメント(3/16～4/4 朝テニスセンター他)▽18歳以下男子シングルス＝ベスト8:仲村元希(2P2)▽18歳以下男子ダブルス＝ベスト8:山岡兼太(3P1)・仲村元希組▽16歳以下男子シングルス＝第3位:中村侑平(1P2)▽18歳以下女子シングルス＝優勝:岡本佳奈(3E1)、準優勝:斉藤絢(3E1)、ベスト16:幾野地夏(2E2)▽18歳以下女子ダブルス＝ベスト8:貝原沙也香(2E1)・他校生組▽16歳以下女子シングルス＝ベスト16:中川知子(1U2)▽16歳以下女子ダブルス＝ベスト16:中川知子・切本沙希(1U2)組○大阪高校スプリングトーナメント(3/13～4/4MTP北村他)▽女子シングルス＝優勝:貝原沙也香(2E1)○ジャパンオープンジュニア選手権2010(3/30～4/4東山公園センター)▽男子シングルス＝ベスト64:内田海智(1P2)▽男子ダブルス＝ベスト16:内田海智(1P2)・他校生組▽女子シングルス＝ベスト64:岡本佳奈(3E1)▽女子ダブルス＝ベスト32:岡本佳奈(3E1)・他校生組○トヨタジュニアトーナメント2010(4/7～10 東山公園センター、瑞穂公園コート)▽男子シングルス＝第6位:内田海智(1P2)

■陸上部

○大阪府1地区・2地区記録会(4/17～18服部陸上競技場)▽100m＝山本尚貴(3U6)12"20、平田将剛(2U6)13"25、福島健太(2U5)12"63、原田康平(2A2)12"68、塚田孝基(2A5)DNS、石原采実(3E1)14"10▽200m＝塚田孝基22"98▽800m＝村中拓己(3A5)2'03"69▽1500m＝村中拓己4'31"08、水川智詞(3A5)4'35"30、西垣真嘉(2A5)4'29"14、山口聖吾(2A5)4'53"59▽3000m＝天雲里穂(2A1)DNS▽三段跳＝五里地義史(2U5)12m20

■演劇部

○新入生歓迎公演「心ウツロウ空ノロウ」(4/17本校6号館1階)出演:龍見明日香(1A1)、福島直季(1A1)、演出・音響:田中大智(3A2)、照明:柳村達也(2A4)

クロスワードパズル

QUOカードが
当たる!

縦のヒントと横のヒントを参考に空白のマスにひらがなを入れ、クロスワードを完成させましょう。「カギ」の4文字で、言葉を作ってください。正解者には、抽選で50名に景品(QUOカード)を用意しています。応募資格は、大阪産業大学(大学院含む)、同短期大学の学生および大阪産業大学附属中学・高等学校、大阪桐蔭中学・高等学校の生徒に限ります。

解けた方は、大学・短大は、本館1階の学生部、4号館2階の工学部事務室、3号館1階の短大事務室など学内10カ所に、産大中・高と桐蔭中・高は、事務室に設置しているクロスワードパズル投函箱に入れてください。発表は、景品発送をもって代えさせていただきます。応募方法は、コピーをとるか、メモ用紙に解答と学籍番号(中・高は学年とクラス)と氏名を明記して投函してください。

締め切りは、2010年6月28日(月)まで(1人1応募に限ります)。前回のクロスワードパズルには、85人の応募があり、厳正に抽選してQUOカードを50名様にお送りしました。ご応募ありがとうございました。

(1)(A)	(2)		(B)	(7)	(9)	(11)
	「カギ」					
(C)		(4)		(D)		
		(E)	(6)	「カギ」		
(F)	(3)				(10)(G)	
(H)			(1)	(8)		
	(J)	(5)				(12)
(K)		「カギ」		(L)		「カギ」

答え



学籍番号
(学年・クラス)

氏名

縦のヒント

1. ○○○○遅れのランナーが先頭走者に抜かれる。
2. 小高くなった土地。○○。
3. 無料のクロスワードパズルです。○○○○するなどして遊んでください。
4. 縦×横×○○。
5. 鼓○○。網○○。角○○。
6. 6月9日は「○○○○の日」です。1933(昭和8)年6月9日、イギリス・スコットランドの湖に巨大な怪物が棲むという記事・写真が新聞に掲載されたそうです。
7. ベッドが別々の二人用の部屋。○○○。
8. 気体・液体・○○○。
9. エジプトのギザの大ピラミッドは○○王が建てたそうです。
10. 「ひさかたの、ひかりのどけき・・・」の二つの「ひ」。○○○○。
11. 「123・・・abc・・・」などを「+＝」等で結びつけたもの。○○○○。
12. 「○○夢中」

横のヒント

- A. 「敵に○○を送る」
- B. 最大の肉食恐竜「ティラノサウルス・○○○○」
- C. 夏に着る和服。○○○。
- D. 「○○○堂々」
- E. もやすこみ「○○○○こみ」。
- F. 駅で切符を調べる所。○○○○口。
- G. 6月10日は「○○の記念日」です。671年6月10日に、天智天皇が唐から伝えられたという水時計を設置して、宮中に太鼓や鐘で○○を伝えたとされています。
- H. アウト○○。
- I. 「○○○錯誤」
- J. 夏に太陽の出ている時間帯を有効に利用する目的で導入している国もあります。○○○○○○。
- K. 6月9日は「○○○○の日」です。「*(6)*(9)」の語呂合せです。
- L. 「○○○応報」

キャンパスセラピー

⑦

春の好きな人は多いけど、ぼくはどうも苦手です。まずは花粉症で鼻はズルズルになるわ目は痒いわで大変です。身体だけじゃなくて、精神的にも春はどうも落ち着きません。夢見も悪くなります。どうも春がトラウマになっているのかもしれない。トラウマは言い過ぎか。ぼくに限ったことではないけど、春というのは環境の変化の多い季節だしね。学生の皆さんにとっても、入学・進級・卒業そして社会人としてのスタート、あるいは落第の人もいるだろうけど……それにしても変化の激しい時期です。ぼくもこの年になるまでいろんなスタートを経験してきたけど、大抵の場合、最初はうまくいきません。大学に入ったときは「もっといい大学に入れたはずなのに……」と思ったし、卒業して医者になったときは「自分は医者に向いてないのでは……」と肩を落としてました。どうも競争的な環境が苦手みたいです。春は一斉にスタートというので、周囲がいやに張り切っているの、圧倒されてしまうのかもしれない。

案外、ぼくと同じような思いを持っ

てる人もこの文章を読んでも人のなかにもいるかもしれませんね。春はスタートをうまく切れない人にとっては、ちょっと息苦しくてソワソワする季節なんです。今回はそんな人のために、春トラウマ症の先輩からのアドバイスです。

まずは他人との競争はキッパリ止める。競争社会だとか、ウカウカしてる

春らんまん



ある晴れた日曜日の散歩で見つけた春らんまんでした。

と取り残されるとか言う人には言わせておけばよろしい。ただね、他人とは競争しなくていいけど自分との競争は必要です。自分のこだわ分野において毎日進化すること。昨日の自分より賢くなること、昨日の自分より強くなることが出来ていればそれでよろしい。いかが？ これだとあまり負ける気がしないでしょ。だって昨日より今日のほうがあなたは確実に経験を積んでるわけだし、賢く強くなれるはずで

す。あなたはもっと自信を持ってもよろしい。遠大な目標を立てると気持ちがすくんでしまう人は、大志なんか持たなくてよろしい。ただ、毎日々々昨日の自分より少しでも進化していけばよろしい。そうすれば、いつかとてもない距離を来たことに驚く日が来ます。そう、山登りのようなものなんです。登り始める時は山の高さに圧倒されますが、カメの歩みでもいいから足下を見て歩き続けていけば、気がつく山頂にいるんです。あなたの登る山がどれほど高いかは山頂に立ってはじめて分かります。

とはいえ、最近ぼくは自分が昨日より進化してないと感じる時もあります。でもね、ぼくの場合はもういいんです。どうも57年も生きているといつの間にか山の頂にきてしまったようです。残念ながらぼくの山はそんなに高い山じゃなかったけど。振り返ってみると、停滞していた時もあるし、思わず進化を遂げたときもありました。いま頂に立って眺めると、ずいぶんと見晴らしが良くなりました。これまでの道のりが見渡せるし、これからの道のりも見通せます。皆さんもぼくらにの年になると、自分の人生に見晴らしが良くなります。それまでは先輩のアドバイスを聞いておいたほうが身のためですよ。

文化コミュニケーション学科教授
ながわ中島クリニック院長
中川 晶

編集後記

新入生諸君も学園生活に慣れてきたことでしょう。しかし「初心忘るべからず」です。学び始めた時の意気込みと謙虚さをもって常にことにあたらなければならない(広辞苑)、という意味。この言葉を思い出させてくれるのが、今月号の表紙の写真。大学入学式の新入生たちの未来を見つめるような真剣な表情です。知識や学問に憧れ、大学生活に希望をいっぱい抱いている姿を捉えたナイスショット。君たちは大学で未知の学問世界を体験してくれ。そして知的な大人として大きく成長してくれ——と声をかけたくになります▽その大学入学式にスポーツ界のスターを迎えました。人間環境学部に入学生した奈良くるみさん。テニスのプロ選手で産大附属高校時代の昨年、全日本選

手権で優勝するなど大活躍中。2859人の新入生を代表して、元気にはつらつと入学宣誓を行いました。また、入学式としては今年初めて「建学の精神」の英語朗読が行われました。建学の精神とは創立者・瀬島源三郎が掲げた「偉大なる平凡人たれ(Greatness For the Masses)」。

国際化を意識しての英語朗読ですが、式場は厳粛な雰囲気となったそうです▽来春卒業の大学4年生の就職活動が本番を迎えています。状況は、低調だった今春卒業生と同様の厳しさが続いています。本誌では就活のアドバイスをキャリアセンターに書いてもらいました。その中で「業種に興味がないから、名前を聞いたことがないから」という理由で学内合同説明会に参加しない学生に、いやだと決め

付けずに足を運んで、と呼びかけています。そのとおりだと思います。現在の人気企業・業種の人気がいつまで続くのかを冷静に考えてみる必要があります。その時代に規模や収益がトップ企業でも時代とともに変遷は著しい。人気企業だった山一證券や日本航空が破綻したのはその象徴。現在衰退産業となっている繊維業界が戦前戦後の時期は日本のトップ産業だったということを話すと学生から驚きの声が漏れます。現在無名の企業も将来はどう発展するか分かりません。それを見極めることも含めて就職は本人の決断です。冷静にかつ果敢にです。がんばれ就職活動！

(編集長・山名康弘)